

## 資料室だより 160

橋本先生の遺品のなかに珍しい楽譜がありましたのでご紹介します。  
珍しいというのは楽譜自体ではなく先生がご購入されるジャンルとして珍しいということです。

### + Anthologie de la chason Parisienne au XVIe siècle (L'Oiseau-Lyre)

16世紀パリ楽派のシャンソン集です。ボニ、ジャヌカン、セルトン、グディメル、セルミジ、ガルダーヌ、コストレ、などなどパリ楽派を代表する作曲家たちの名曲集です。フランスの音楽学者ルジュール校訂になります。無論世俗曲で恋の歌が中心です。宗教音楽研究所の所長のイメージとは違うかもしれませんが、同時に同じ日に（おそらく同じ場所で）購入されたもう一冊が以下の楽譜です。

### +Treize Livres de Motets parus chez Pierre Attaignant en 1534 et 1535 (L'Oiseau-Lyre)

こちらは上記のパリ楽派の同じ作曲家たちによる宗教声楽曲集です。アテナンというシャンソンをすぐに想起させますが上記の作曲家たちは聖職者である場合も多く、ミサ固有文やアンティフォナなどに多声楽曲を作曲しています。パリ楽派による典礼楽曲ということで以前 *Moduli undecim festorum (Recent Researches in the Music in the Renaissance, 56)* をこのたよりでご紹介しています。そちらと併せて勉強されることをお勧めします。

この曲集はオランダの音楽学者スマイヤー氏による校訂です。先生にとってこちらは大変興味深い楽譜であったことはじゅうぶんに伺えますが、同時代の世俗曲も視野に入れて購入されたということ、そして大変重たい（たぶんオランダで購入）、価格も決して安くはない学問的校訂版であるということを考え併せると、先生の探求心の熱心さは並ではなかったと思わされます。

2冊とも資料室にはないものですのでありがたくいただき皆さまの利用に供したいと思います。

杉本ゆり記